



2019年度  
第2四半期決算説明資料

2019年10月10日

株式会社 乃村工藝社

- 1. 2019年度 第2四半期決算概要**
- 2. 持続的な成長に向けて**
- 3. 2019年度 第2四半期決算補足資料**

# 1. 2019年度 第2四半期決算概要

## 2019年度 第2四半期 連結業績ハイライト

- 第2四半期における過去最高の売上・利益を計上
- 売上高増による売上総利益の増加により大幅な増益となった

(百万円)	2018年度		2019年度		
	2Q	対売上高 構成比	2Q	対売上高 構成比	前年同期比
売上高	52,242	100.0%	70,724	100.0%	+18,482 (+35.4%)
売上総利益	11,022	21.1%	14,911	21.1%	+3,889 (+35.3%)
営業利益	3,470	6.6%	6,592	9.3%	+3,122 (+90.0%)
経常利益	3,587	6.9%	6,693	9.5%	+3,105 (+86.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,767	5.3%	4,517	6.4%	+1,750 (+63.3%)

# 売上高・売上総利益

## ①売上高

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
売上高	52,242百万円	<u>70,724百万円</u>	+18,482百万円 (+35.4%)

- プロジェクトの大型化、期中の大型案件の獲得などにより、前年同期に比べ大型案件が増加したことにより増収

## ②売上総利益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
売上総利益	11,022百万円	<u>14,911百万円</u>	+3,889百万円 (+35.3%)
(売上総利益率)	21.1%	<u>21.1%</u>	—

- 売上高の大幅な増加、ならびに高い売上総利益率を確保したことにより増加

# 営業利益

## ① 販売管理費

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
人件費	4,717百万円	<u>5,158百万円</u>	+441百万円
経費	2,835百万円	<u>3,160百万円</u>	+325百万円
販売管理費	7,552百万円	<u>8,319百万円</u>	+766百万円 (+10.2%)

➤ 人員増にともなう人件費増、オフィス拡張による賃料増および宣伝広告費増などにより増加

## ② 営業利益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
営業利益	3,470百万円	<u>6,592百万円</u>	+3,122百万円 (+90.0%)

➤ 販売管理費が766百万円増加したものの、売上総利益3,889百万円増により増加

## 経常利益

### ① 営業外損益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
営業外収益	118百万円	<u>107百万円</u>	△11百万円
営業外費用	1百万円	<u>6百万円</u>	+ 5百万円

- 営業外収益は、仕入割引の減少などにより減少
- 営業外費用は、為替差損の計上により増加

### ② 経常利益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
経常利益	3,587百万円	<u>6,693百万円</u>	+3,105百万円 (+86.6%)

- 営業利益の大幅な増加にともない増益

## 四半期純利益

### ① 特別損益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
特別利益	644百万円	-	△644百万円
特別損失	72百万円	<u>9百万円</u>	△62百万円

- 特別利益は、前年同期に不動産の売却にともなう固定資産売却益を計上していたため減少
- 特別損失は、前年同期に減損損失を計上していたため減少

### ② 法人税等・四半期純利益

	2018年度 2Q	2019年度 2Q	前年同期比
法人税等	1,383百万円	<u>2,157百万円</u>	+773百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,767百万円	<u>4,517百万円</u>	+1,750百万円 (+63.3%)

- 法人税等は、利益増にともない増加
- 四半期純利益は、経常利益の増加にともない増加

## 市場分野別の売上高

- 商業分野では、専門店市場は減収となったが、大手百貨店の改装・装飾を手掛けた百貨店・量販店市場、大型商業施設の環境演出などを手掛けた複合商業施設市場が増収
- 科学館などを手掛けた博物館・美術館市場、テーマパークの装飾・環境演出、ホテルの新装改装を手掛けた余暇施設市場、公共の大型イベントを手掛けた博覧会・イベント市場、オフィスや保育園、鉄道・空港関連施設などを手掛けたその他市場も増収

	2018年度 2Q 売上高		売上 総利益率	2019年度 2Q 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	16,002	△19.5%	18.7%	<b>14,582</b>	△8.9%	↑19.8%
百貨店・量販店市場	2,724	+7.3%	25.5%	<b>2,865</b>	+5.2%	↑26.5%
複合商業施設市場	4,779	△36.8%	25.9%	<b>7,789</b>	+63.0%	↓19.6%
広報・販売促進市場	8,493	+10.1%	23.5%	<b>8,648</b>	+1.8%	↓21.4%
博物館・美術館市場	4,189	+6.2%	18.2%	<b>6,546</b>	+56.3%	↑20.6%
余暇施設市場	5,050	+24.0%	18.0%	<b>8,062</b>	+59.6%	↑20.3%
博覧会・イベント市場	324	+19.1%	19.0%	<b>2,242</b>	+590.5%	↑29.6%
その他市場	9,640	+80.4%	22.8%	<b>18,685</b>	+93.8%	↓21.2%
ディスプレイ事業 小計	51,204	△0.2%	21.2%	<b>69,422</b>	+35.6%	↓21.1%
飲食・物販事業	1,037	△36.2%	17.0%	<b>1,302</b>	+25.5%	↑20.6%
合計	52,242	△1.3%	21.1%	<b>70,724</b>	+35.4%	→21.1%

## 市場分野別の受注高・受注残高

- 受注高は、テーマパーク、ホテルなどを受注した余暇施設市場、東京2020大会案件などを受注した博覧会・イベント市場、オフィスや空港関連施設などを受注したその他市場が大きく増加
- 受注残高は、引き続き高い水準を確保、来期分の案件受注も増加している

	2018年度 2Q		2019年度 2Q		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	22,391	12,220	<b>19,029</b>	<b>12,388</b>	△15.0%	+1.4%
百貨店・量販店市場	2,570	1,382	<b>3,118</b>	<b>1,791</b>	+21.3%	+29.6%
複合商業施設市場	12,001	10,704	<b>7,250</b>	<b>8,175</b>	△39.6%	△23.6%
広報・販売促進市場	9,043	5,284	<b>8,788</b>	<b>5,274</b>	△2.8%	△0.2%
博物館・美術館市場	5,722	8,708	<b>7,065</b>	<b>7,077</b>	+23.5%	△18.7%
余暇施設市場	4,462	6,227	<b>9,043</b>	<b>10,966</b>	+102.7%	+76.1%
博覧会・イベント市場	478	243	<b>8,981</b>	<b>8,318</b>	+1,777.1%	+3,317.5%
その他市場	14,489	10,316	<b>15,456</b>	<b>16,173</b>	+6.7%	+56.8%
合 計	71,158	55,085	<b>78,733</b>	<b>70,165</b>	+10.6%	+27.4%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

## 2019年度 連結業績予想

- 通期業績予想に対する第2四半期業績の進捗率は、売上高54.4%、営業利益70.9%と高く、業績予想の達成に向けて堅調に推移

(百万円)	2018年度			2019年度(予想)		
	通期	構成比	前期比	通期	構成比	前期比
売上高	125,859	100.0%	+8.6%	<b>130,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>+3.3%</b>
売上総利益	26,062	20.7%	+12.7%	<b>26,900</b>	<b>20.7%</b>	<b>+3.2%</b>
販売管理費	16,908	13.4%	+13.0%	<b>17,600</b>	<b>13.5%</b>	<b>+4.1%</b>
営業利益	9,154	7.3%	+12.0%	<b>9,300</b>	<b>7.2%</b>	<b>+1.6%</b>
経常利益	9,341	7.4%	+11.6%	<b>9,400</b>	<b>7.2%</b>	<b>+0.6%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,745	5.4%	+19.6%	<b>6,300</b>	<b>4.8%</b>	<b>△6.6%</b>
1株当たり当期純利益		60.63円 ※		<b>56.62円</b> ※	※ 2019年6月1日付で1:2の株式分割を実施 1株当たり当期純利益は、2018年度の期首に 当該株式分割がおこなわれたと仮定して算定	
1株当たり配当金		52.00円 (記念配当2円を含む)		<b>25.00円</b> ※	※ 2019年度(予想)の1株当たり配当金は、当該 株式分割を考慮して算定	
ROE (自己資本当期純利益率)		16.3%		<b>14~16%</b>		

(注) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください

## 2. 持続的な成長に向けて

## 大きな節目を迎えている乃村工藝社グループ

2017～2019年中期経営計画の最終年度

- **変革を加速し、持続的な成長軌道を構築**
- **東京2020オリンピック・パラリンピックへの取り組みを契機として、成長機会を獲得**

# 長期ビジョンN22に向けた3つのステップ

“競争の次元を変える”をテーマに、旺盛な需要に対応するとともに、持続的な成長に向けた取り組みを推進



## 市場動向

- ・東京2020、インフラ整備、都市再開発による複合施設の需要増
- ・「体験価値」を提供する施設・空間の需要増
- ・働き方改革を背景としたオフィス需要増

## 当社の取り組み

- ・市場別から機能別への組織改革
- ・「組織力」「対応力」「開発力」を強化
- ・生産性向上、多様な働き方への対応

## 市場、顧客への対応力強化

### ➤ 機能別組織で変化するニーズに対応

- ・中計スタート時に機能別組織へ変更。クリエイティブ、プロダクトの横軸連携が強化されたことにより、複合的な商品・サービスの提供が可能に



**大手顧客の深耕、大型プロジェクトの獲得**

### ➤ 生産体制の強化

- ・業務プロセスの整備、改善を推進し、リスクの先行管理、プロジェクト管理を強化
- ・協力会社と一体となった人財育成、品質・安全強化



**継続した利益率の改善**

### ➤ 働きやすい環境づくり、人財育成への取り組みを強化

- ・働きやすい環境づくりに注力、多様な社員の知識や経験の共有を促進
- ・ノウハウの伝承を進め、専門人財、次世代を担う人財を育成



**生産性、モチベーション、能力の向上**

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

# 東京2020大会を通じた成長への取り組み

東京2020競技大会オフィシャルサポーター契約を2018年6月締結  
(内部空間・展示空間のデザイン、設計、施工カテゴリー)

## ➤ 事業基盤の強化

参加70社以上のパートナー企業との連携を強化し、  
既存顧客の深耕、新規顧客の開拓を推進

## ➤ 組織力の強化

機運醸成イベントや体験イベントなどを通じて、パートナー  
企業様・当社、会社と社員、社員同士のつながりを深化

## ➤ 企業ブランド価値の認知拡大

活発な発信活動により、当社企業価値、空間創造事業  
価値の認知を拡大



7月、外部講師によるグローバル人材育成、スポーツマーケティング戦略、大手パートナー企業の取り組みを学ぶ社内講演会を実施



9/30、10/1、東京本社にて、パラリンピックスポーツへの親しみ方を提案するスポーツホスピタリティ空間を企画・演出したイベントを、取引先企業を対象に実施



## 東京2020大会案件の受注状況

- 2019年度上期 受注実績 :  
オーバーレイ<sup>※</sup>案件など
- 2019年度下期 受注見通し :  
参加国やパートナー企業のパビリオン、プロモーション案件など

※会場に必要な建築、機能、設備などを整備する業務、具体的にはテントやプレハブ、仮設の観客席やフェンスなど

## 中期経営計画の業績推移 / 持続的成長に向けて

## 2017～2019 中期経営計画における業績推移

- 2019年度業績予想については精査中、修正が必要となる場合は速やかに開示
- 持続的な成長に向け、高い品質を提供することを最優先とし、適切なキャパシティの確保、働き方改革、人財育成への取り組みに注力

(百万円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)
売上高	115,841	125,859	130,000
売上総利益 (率)	23,129 (20.0%)	26,062 (20.7%)	26,900 (20.7%)
販売管理費 (率)	14,957 (12.9%)	16,908 (13.4%)	17,600 (13.5%)
営業利益 (率)	8,171 (7.1%)	9,154 (7.3%)	9,300 (7.2%)
経常利益 (率)	8,373 (7.2%)	9,341 (7.4%)	9,400 (7.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益(率)	5,638 (4.9%)	6,745 (5.4%)	6,300 (4.8%)

持続的成長に向けて－働き方改革－

# 「ノムらしい働き方改革」

**働き方関連の  
制度充実**

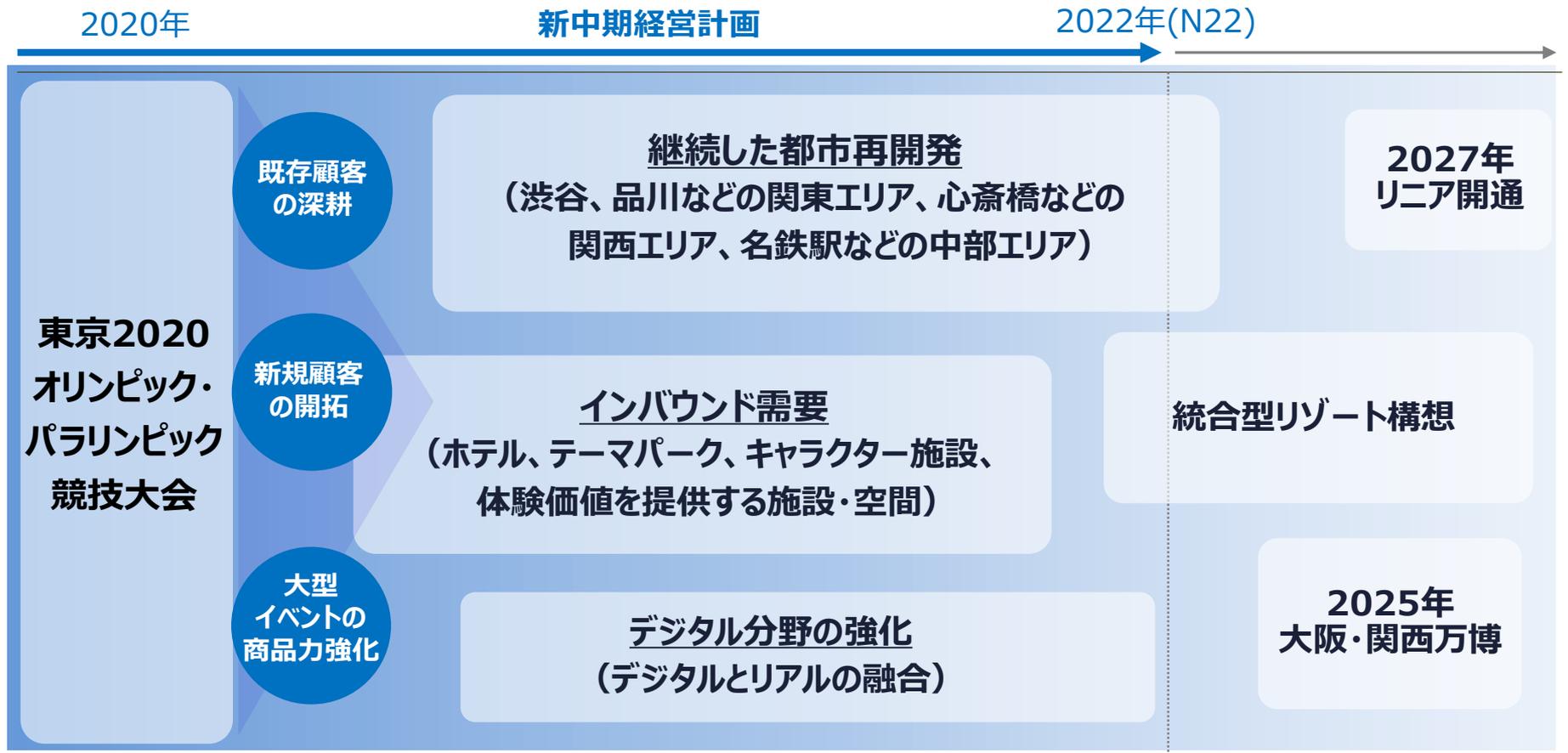
+

**働く環境の整備**  
(オフィス環境、IT環境など)



# 持続的成長に向けて – 2020年以降の展開 –

- 2020年度から新たな中期経営計画をスタート
- 2020年以降も多くの事業機会が見込まれるなか、東京2020大会を通じた貴重な機会・経験を礎に、総合的な価値提供に磨きをかけ、増益基調の継続を目指す



### 3. 2019年度 第2四半期決算補足資料

# 連結貸借対照表

		2018年度末		2019年度 第2四半期末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	73,658	82.9%	68,319	81.7%	△5,338	△7.2%	受注残増にともなう仕掛増によりたな卸資産が増加した一方、売掛金の回収が進んだことにより、53億38百万円減少
	固定資産	15,188	17.1%	15,322	18.3%	+133	+0.9%	保有株式の時価減少により投資有価証券が減少した一方、システム・IT投資にともない無形固定資産が増加したことなどにより、1億33百万円増加
	資産合計	88,846	100.0%	83,641	100.0%	△5,205	△5.9%	
負 債 純 資 産	流動負債	40,220	45.3%	33,667	40.3%	△6,553	△16.3%	支払いによる買掛金の減少、売上計上にともなう前受金の減少などにより、65億53百万円減少
	固定負債	5,314	6.0%	5,472	6.5%	+157	+3.0%	退職給付費用繰入による増加
	負債合計	45,535	51.3%	39,139	46.8%	△6,395	△14.0%	
	純資産	43,311	48.7%	44,501	53.2%	+1,190	+2.7%	配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上などにより、11億90百万円増加
	負債純資産合計	88,846	100.0%	83,641	100.0%	△5,205	△5.9%	

# 連結損益計算書

第2四半期	2018年度		2019年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	52,242	100.0%	<b>70,724</b>	<b>100.0%</b>	+18,482	+35.4%	複合商業施設市場、余暇施設市場、 博覧会・イベント市場、その他市場の 売上高が大きく増加し増収
売上総利益	11,022	21.1%	<b>14,911</b>	<b>21.1%</b>	+3,889	+35.3%	売上高の増加により増益
販売管理費	7,552	14.5%	<b>8,319</b>	<b>11.8%</b>	+766	+10.2%	人員増加にともなうオフィス拡張による 賃料増、宣伝広告費増などにより増加
営業利益	3,470	6.6%	<b>6,592</b>	<b>9.3%</b>	+3,122	+90.0%	販管費が増加したものの、売上高の増 加により増益
経常利益	3,587	6.9%	<b>6,693</b>	<b>9.5%</b>	+3,105	+86.6%	営業利益の増加によるもの
特別利益	644	1.2%	—	—	△644	—	前年同期は、固定資産売却益を計上
特別損失	72	0.1%	<b>9</b>	<b>0.0%</b>	△62	△86.7%	前年同期は、減損損失を計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,767	5.3%	<b>4,517</b>	<b>6.4%</b>	+1,750	+63.3%	経常利益の増加により増益

## 連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期	2018年度 (百万円)	2019年度 (百万円)	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,720	<b>2,353</b>	税金の支払いが増加がした一方、税金等調整前四半期純利益の増加などにより23億53百万円の収入
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,679	<b>△1,227</b>	システム・IT投資などにより12億27百万円の支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,524	<b>△2,911</b>	配当金の支払いなどにより29億11百万円の支出
現金及び現金同等物の増減額	2,837	<b>△1,808</b>	
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,578	<b>30,132</b>	前年同期末に比べ15億53百万円の増加

# 市場分野別 売上高・売上総利益率

第2四半期	2018年度			2019年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	16,002	△19.5%	18.7%	<b>14,582</b>	△8.9%	↑19.8%	アパレルやスポーツブランドの店舗、多店舗展開案件などを手掛けたが、前年同期に比べ大型案件の完工が少なく減収
百貨店・量販店市場	2,724	+7.3%	25.5%	<b>2,865</b>	+5.2%	↑26.5%	大手百貨店の改装、装飾を手掛け増収
複合商業施設市場	4,779	△36.8%	25.9%	<b>7,789</b>	+63.0%	↓19.6%	大都市圏の商業施設の環境演出などを手掛け増収
広報・販売促進市場	8,493	+10.1%	23.5%	<b>8,648</b>	+1.8%	↓21.4%	電機、自動車、食品・飲料メーカーなどの展示会や企業PR施設を手掛け増収
博物館・美術館市場	4,189	+6.2%	18.2%	<b>6,546</b>	+56.3%	↑20.6%	科学館、自然・歴史博物館などを手掛け増収
余暇施設市場	5,050	+24.0%	18.0%	<b>8,062</b>	+59.6%	↑20.3%	テーマパークの装飾・環境演出、ホテルの新装改装などを手掛け増収
博覧会・イベント市場	324	+19.1%	19.0%	<b>2,242</b>	+590.5%	↑29.6%	公共の大型イベントなどを手掛け増収
その他市場	9,640	+80.4%	22.8%	<b>18,685</b>	+93.8%	↓21.2%	オフィスや保育園、鉄道・空港関連施設などを手掛け増収
ディスプレイ事業 小計	51,204	△0.2%	21.2%	<b>69,422</b>	+35.6%	↓21.1%	
飲食・物販事業	1,037	△36.2%	17.0%	<b>1,302</b>	+25.5%	↑20.6%	新規出店（東京都庁内の軽食・物販店、神田明神交流館内の物販店）により増収
合計	52,242	△1.3%	21.1%	<b>70,724</b>	+35.4%	→21.1%	

# 【四半期推移】業績サマリー

(百万円)

	2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	22,127	30,114	28,755	44,861	31,489	<b>39,235</b>		
売上総利益	4,279	6,743	6,187	8,853	6,539	<b>8,372</b>		
売上総利益率	19.3%	22.4%	21.5%	19.7%	20.8%	<b>21.3%</b>		
販売管理費	3,734	3,817	3,819	5,536	3,950	<b>4,368</b>		
販売管理費比率	16.9%	12.7%	13.3%	12.3%	12.6%	<b>11.1%</b>		
営業利益	544	2,925	2,367	3,316	2,588	<b>4,003</b>		
営業利益率	2.5%	9.7%	8.2%	7.4%	8.2%	<b>10.2%</b>		
経常利益	604	2,983	2,401	3,352	2,657	<b>4,036</b>		
経常利益率	2.7%	9.9%	8.4%	7.5%	8.4%	<b>10.3%</b>		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	271	2,495	1,693	2,285	1,709	<b>2,807</b>		
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	1.2%	8.3%	5.9%	5.1%	5.4%	<b>7.2%</b>		
受注高	31,266	39,891	44,466	33,736	42,981	<b>35,752</b>		
受注残高	44,775	55,085	71,490	60,855	72,982	<b>70,165</b>		

# 【四半期推移】市場分野別 売上高

(百万円)

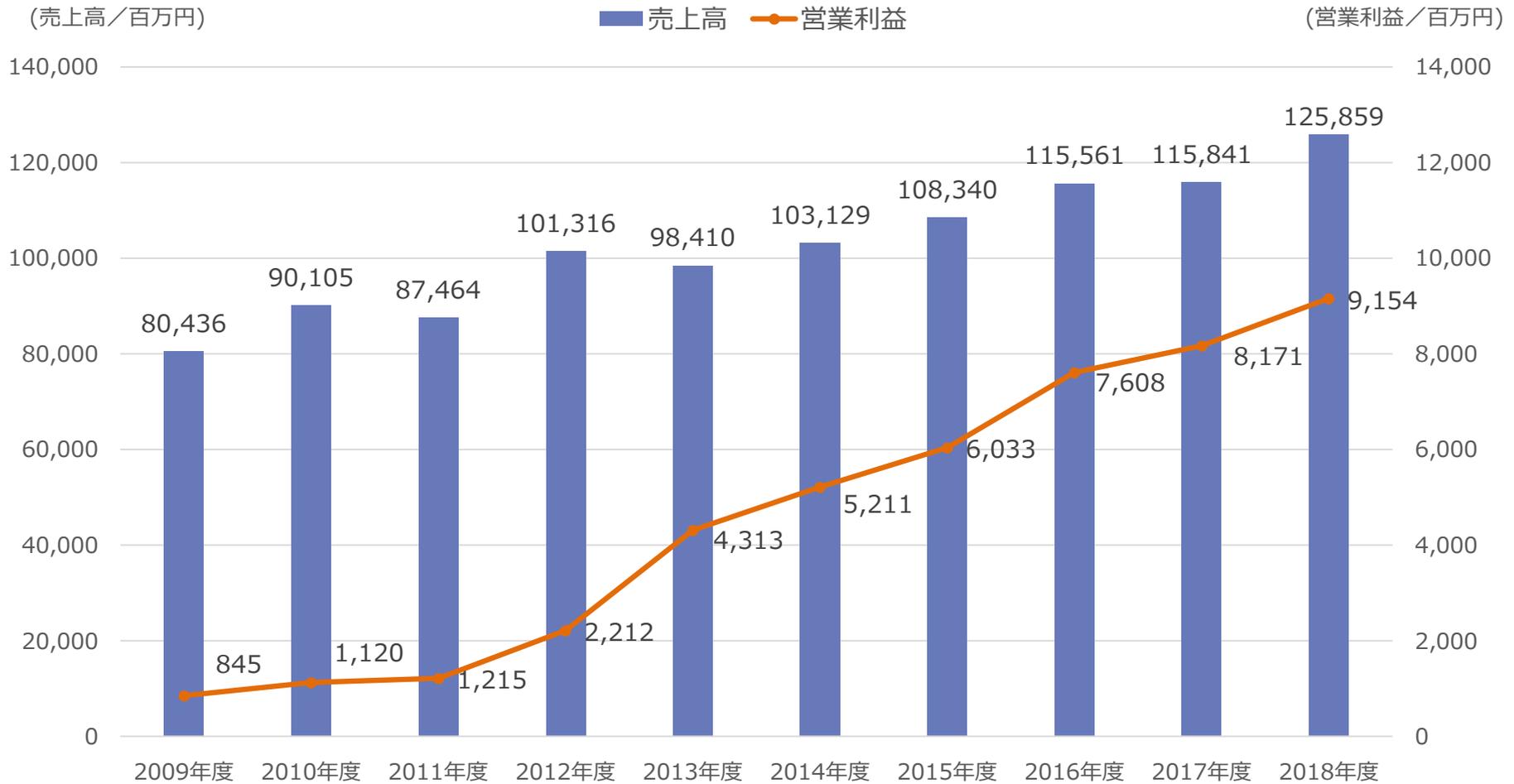
	2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	6,031	9,970	11,725	14,402	7,029	<b>7,552</b>		
百貨店・量販店市場	1,538	1,186	1,604	1,380	1,429	<b>1,436</b>		
複合商業施設市場	2,357	2,421	4,096	4,506	3,361	<b>4,427</b>		
広報・販売促進市場	4,056	4,436	4,673	4,859	5,037	<b>3,611</b>		
博物館・美術館市場	2,150	2,038	2,221	2,356	2,457	<b>4,088</b>		
余暇施設市場	2,351	2,699	1,257	6,225	5,065	<b>2,997</b>		
博覧会・イベント市場	180	144	135	375	325	<b>1,917</b>		
その他市場	2,955	6,684	2,347	10,266	6,147	<b>12,537</b>		
ディスプレイ事業 小計	21,623	29,581	28,061	44,372	30,853	<b>38,569</b>		
飲食・物販事業	504	532	693	488	636	<b>665</b>		
合 計	22,127	30,114	28,755	44,861	31,489	<b>39,235</b>		

# 【四半期推移】市場分野別 受注高・受注残高

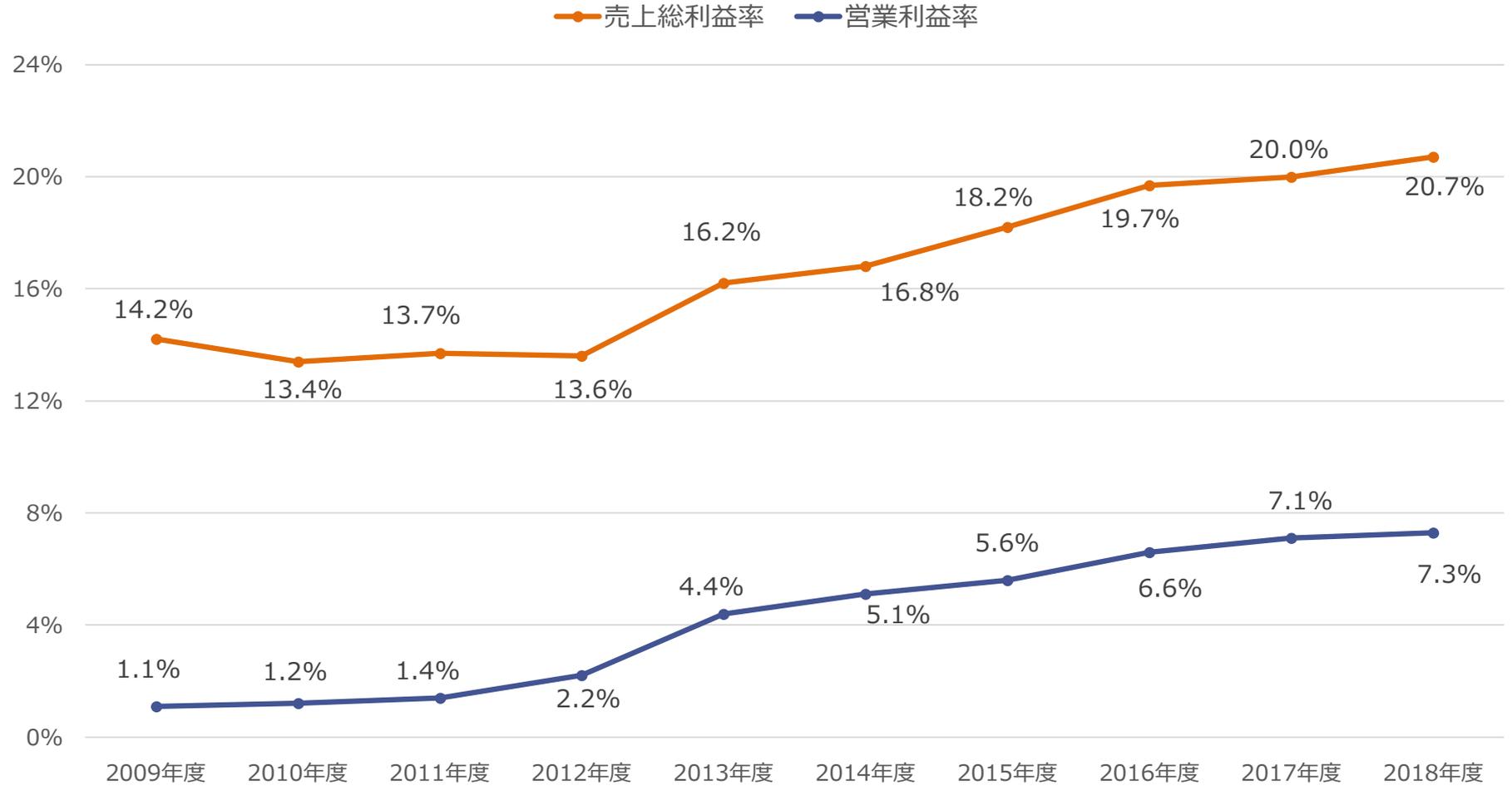
(百万円)

	2018年度				2019年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 受注高								
専門店市場	8,784	13,607	11,321	10,527	9,163	<b>9,866</b>		
百貨店・量販店市場	1,228	1,341	1,139	2,002	1,508	<b>1,609</b>		
複合商業施設市場	5,863	6,137	2,114	4,497	3,261	<b>3,989</b>		
広報・販売促進市場	4,275	4,767	4,944	4,438	4,689	<b>4,099</b>		
博物館・美術館市場	3,480	2,241	2,194	233	5,171	<b>1,893</b>		
余暇施設市場	2,660	1,801	8,584	2,656	2,311	<b>6,731</b>		
博覧会・イベント市場	328	149	217	1,629	8,425	<b>555</b>		
その他市場	4,643	9,845	13,949	7,751	8,449	<b>7,006</b>		
合計	31,266	39,891	44,466	33,736	42,981	<b>35,752</b>		
■ 受注残高								
専門店市場	8,583	12,220	11,815	7,941	10,125	<b>12,388</b>		
百貨店・量販店市場	1,227	1,382	917	1,538	1,617	<b>1,791</b>		
複合商業施設市場	6,988	10,704	8,722	8,714	8,563	<b>8,175</b>		
広報・販売促進市場	4,953	5,284	5,554	5,134	4,786	<b>5,274</b>		
博物館・美術館市場	8,504	8,708	8,681	6,558	9,272	<b>7,077</b>		
余暇施設市場	7,124	6,227	13,554	9,985	7,231	<b>10,966</b>		
博覧会・イベント市場	238	243	325	1,579	9,680	<b>8,318</b>		
その他市場	7,155	10,316	21,918	19,402	21,704	<b>16,173</b>		
合計	44,775	55,085	71,490	60,855	72,982	<b>70,165</b>		

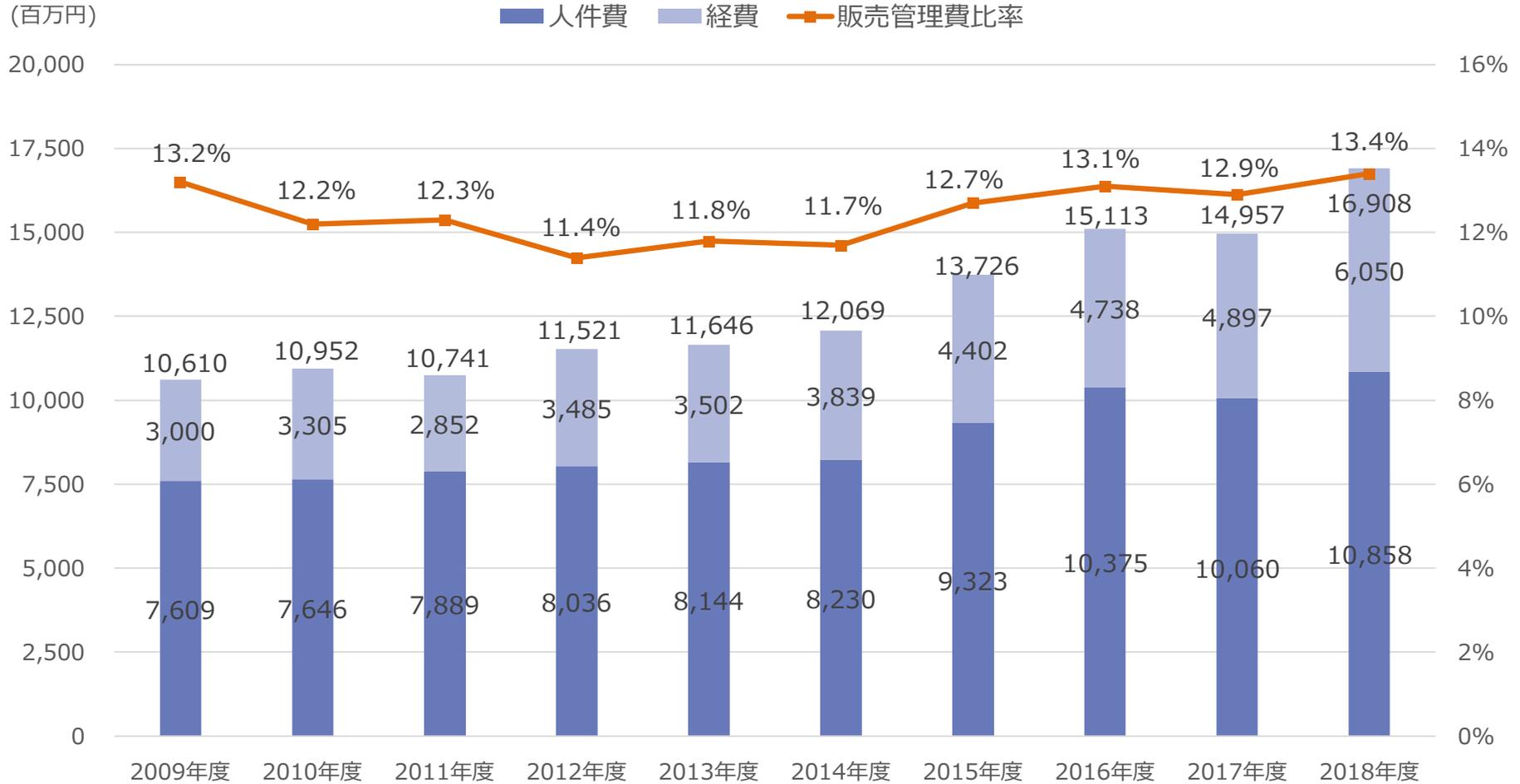
# 【通期推移】売上高・営業利益



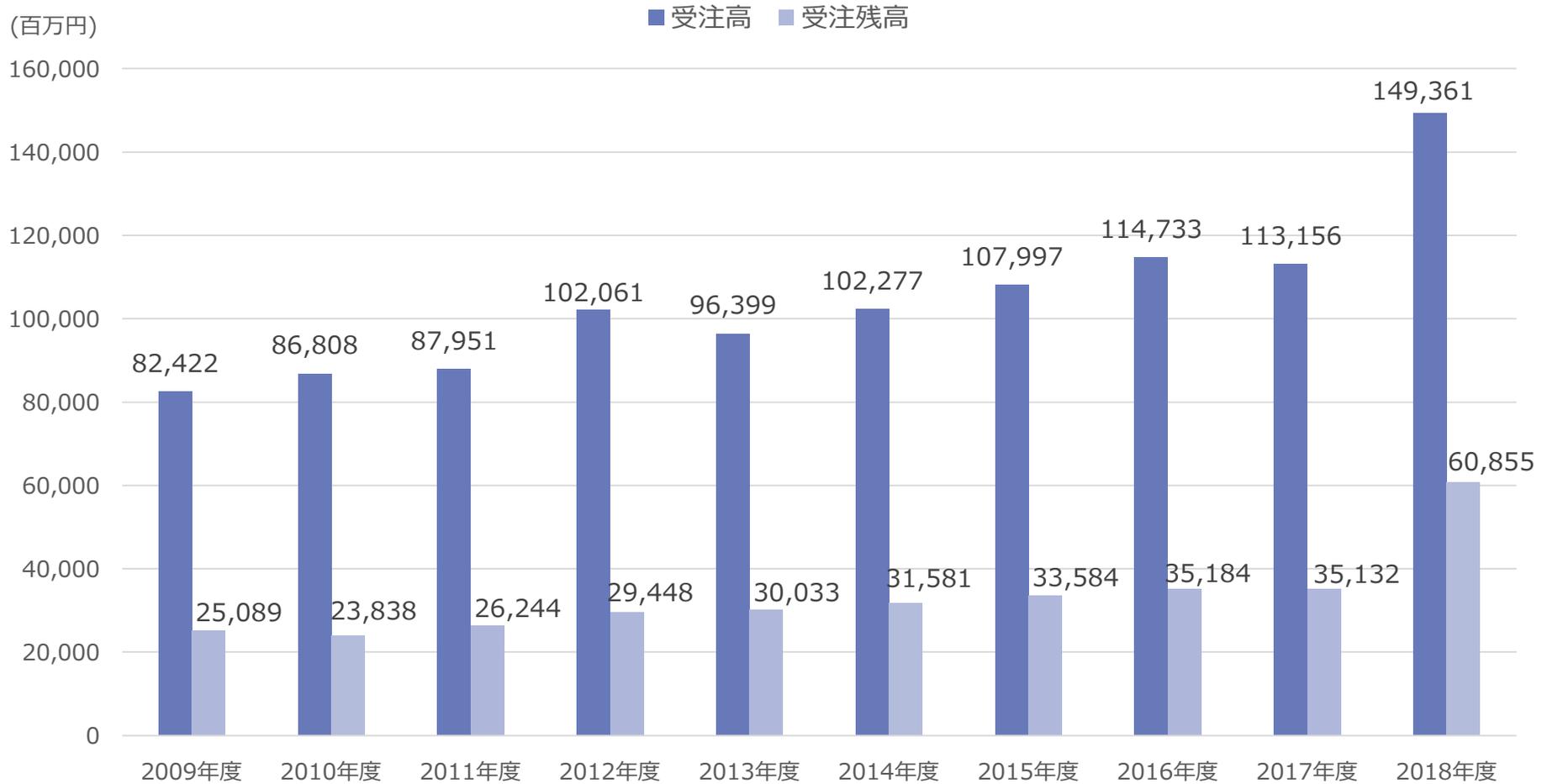
# 【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



# 【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率

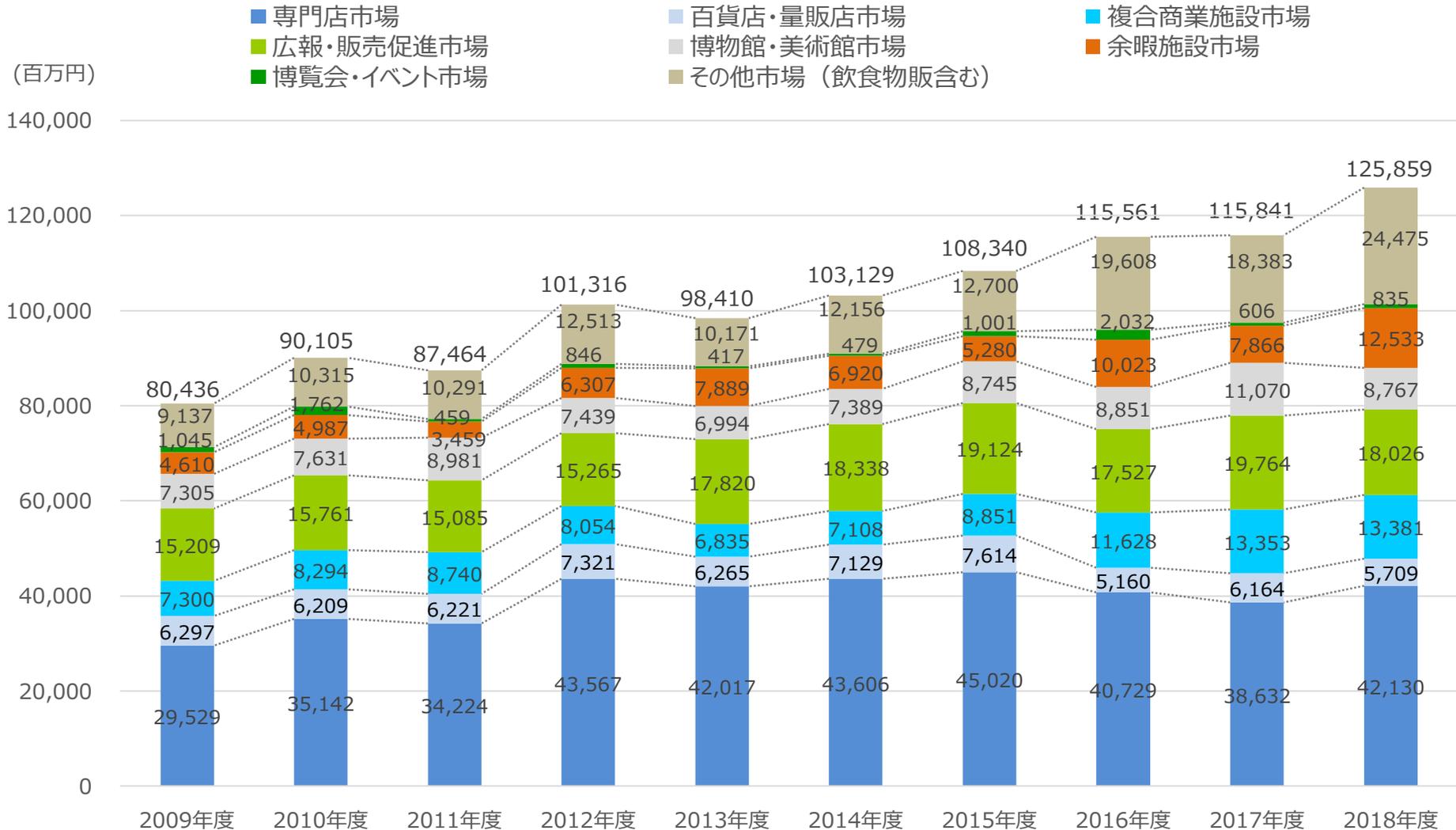


# 【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

# 【通期推移】市場分野別 売上高

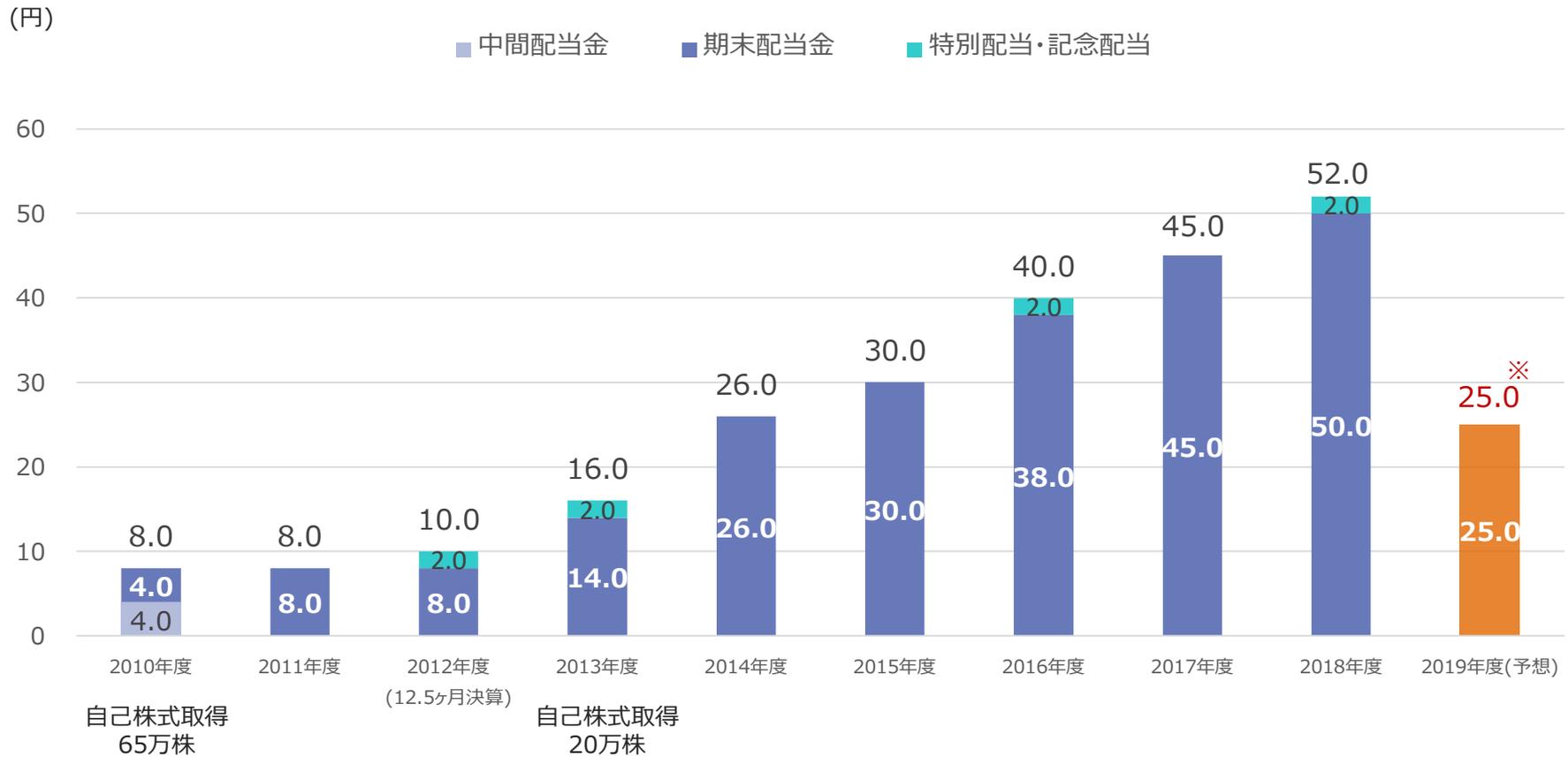


(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています

# 株式関連資料

# 株主還元策と配当金の推移

※ 2019年6月1日付で1:2の株式分割を実施。2019年度の1株当たり配当金、株価最高値・最安値は、当該株式分割後の値



配当性向	111.6%	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	44.2%
株価最高値	368円	348円	442円	1,052円	1,216円	1,932円	1,990円	2,648円	3,335円	1,670円
株価最安値	202円	201円	228円	426円	665円	1,102円	1,327円	1,803円	2,035円	1,300円

(注) 2019年度の株価最高値・最安値は、2019年8月末までの数値をもとに掲載

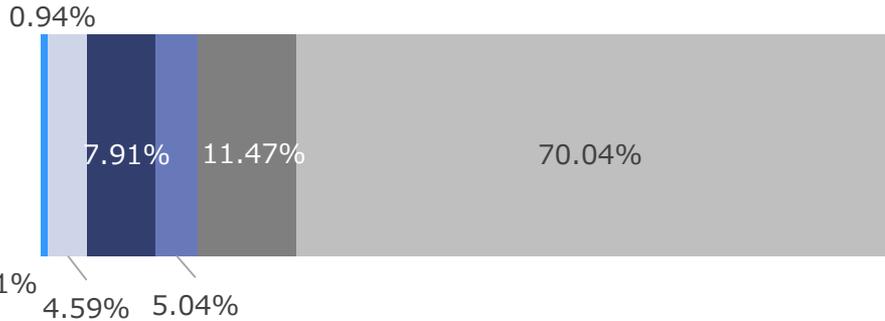
# 時価総額と株主数の推移



# 株主構成 (2019年8月31日現在)

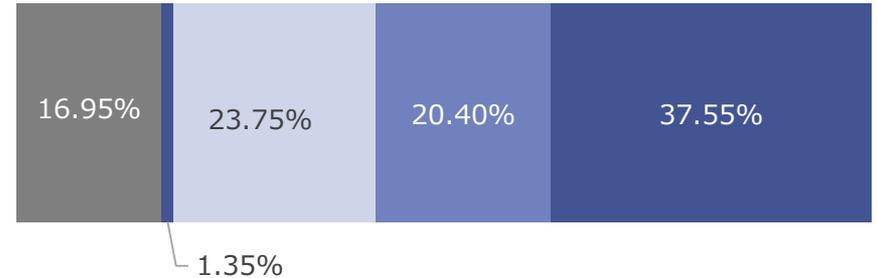
## ■ 所有株数別株式の分布状況

- 100株未満
- 1,000株以上10,000株未満
- 50,000株以上100,000株未満
- 500,000株以上
- 100株以上1,000株未満
- 10,000株以上50,000株未満
- 100,000株以上500,000株未満



## ■ 所有者別株式の分布状況

- 外国人
- 証券会社
- 金融機関
- その他法人
- 個人・その他



100株未満	863名	6,268株
100株以上1,000株未満	3,750名	1,131,611株
1,000株以上10,000株未満	1,769名	5,501,158株
10,000株以上50,000株未満	438名	9,489,533株
50,000株以上100,000株未満	88名	6,048,167株
100,000株以上500,000株未満	66名	13,751,179株
500,000株以上	42名	83,968,672株
	<b>7,016名</b>	<b>119,896,588株</b>

外国人	206名	20,326,122株
証券会社	34名	1,621,594株
金融機関	43名	28,475,980株
その他法人	149名	24,459,566株
個人・その他	6,584名	45,013,326株
	<b>7,016名</b>	<b>119,896,588株</b>

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

# 株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ

経営管理部

([ir@nomura-g.jp](mailto:ir@nomura-g.jp))